



新明和工業株式会社

2023 年 3 月期 決算説明会

2023 年 5 月 16 日

イベント概要

[企業名]	新明和工業株式会社		
[企業 ID]	7224		
[イベント言語]	JPN		
[イベント種類]	決算説明会		
[イベント名]	2023 年 3 月期 決算説明会		
[決算期]	2023 年度 通期		
[日程]	2023 年 5 月 16 日		
[ページ数]	17		
[時間]	17:00 – 17:20 (合計：20 分、登壇：20 分)		
[開催場所]	インターネット配信		
[登壇者]	1 名 代表取締役 取締役社長 五十川 龍之（以下、五十川）		

サポート

日本	050-5212-7790	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com

2023年3月期 連結決算実績 サマリー

ShinMaywa
VISION WITH INSIGHT

(単位：百万円)

前期比

	22.3期 実績	23.3期		増減（増減率）			
		2月公表	実績	前期比		2月公表比	
受注高	263,163	256,200	267,159	+ 3,995	(+1.5%)	10,959	(+4.3%)
売上高	216,823	222,000	225,175	+ 8,351	(+3.9%)	+ 3,175	(+1.4%)
営業利益	10,569	8,000	9,293	△1,276	(△12.1%)	+ 1,293	(+16.2%)
経常利益	11,821	8,700	9,902	△1,919	(△16.2%)	+ 1,202	(+13.8%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,907	5,600	7,313	+ 406	(+5.9%)	+ 1,713	(+30.6%)
受注残高	210,338	244,538	255,859	+ 45,521	(+21.6%)	+ 11,321	(+4.6%)
ROE	7.7%	—	7.6%	△0.1pt	—	—	—
ROIC※	5.1%	—	4.4%	△0.7pt	—	—	—
為替レート (1USドル)	111.9円	130.0円	135.5円				

※ROIC = 営業利益 × (1 - 実効税率) / 投下資本 (= 有利子負債 + 自己資本) の期首期末平均値

© 2023 ShinMaywa Industries, Ltd.

受注高

- 「産機・環境システム」「流体」「パーキングシステム」セグメントが増加し、全体でも増加。前年に続き、過去最高を更新。

売上高

- 「特装車」「その他」を除く全てのセグメントで増収となり、全体でも増収。

利益

- 営業利益は、円安効果はあるものの、鋼材価格の上昇等により「特装車」セグメントが大幅減益となった結果、全体でも減益。一方、親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損益の増加と税金費用の減少により増益。

受注残高

- 売上を上回る受注が続いており、増加。(手持月数は13.6ヵ月)

2

五十川：新明和工業の五十川でございます。ただいまから、2023年3月期決算説明を行います。

まず、2023年3月期決算実績について説明いたします。

こちらは、2023年3月期の主要な業績数値について、それぞれ前期と比較した表です。

受注高につきましては、産機・環境システム、流体、パーキングシステムセグメントが増加した結果、全体では前期比プラス1.5%の2,671億円となり、前年に続いて過去最高を更新しました。売上高につきましては、特装車、その他を除く全てのセグメントが増収となり、全体ではプラス3.9%の2,251億円となりました。

利益につきましては、円安効果による増益はありましたが、鋼材価格の上昇などにより、特装車セグメントが大幅減益となった結果、営業利益は前期比マイナス12.1%の92億円、経常利益はマイナス16.2%の99億円となりました。

一方、親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損益の増加と税金費用の減少により、プラス5.9%増の73億円となりました。受注残高につきましては、主要部品調達遅れなどに伴う生産活動

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

の停滞は回復傾向にあるものの、売上を上回る受注が続いており、前期比プラス 21.6%増の 2,558 億円、手持月数 13.6 カ月となりました。

2023年3月期 連結決算実績 セグメント別

ShinMaywa
VISION WITH INSIGHT

(単位：億円)

セグメント	受注高			売上高			営業利益		
	22.3期	23.3期	増減	22.3期	23.3期	増減	22.3期	23.3期	増減
特装车	1,186	1,141	△45	971	913	△58	53	7	△46
パーキングシステム	381	399	+17	380	386	+5	30	26	△3
産機・環境システム	370	488	+117	255	334	+78	17	29	+11
流体	221	251	+30	207	244	+36	31	39	+7
航空機	317	241	△75	191	231	+39	△8	13	+22
その他	154	149	△5	160	141	△18	9	7	△2
調整額	—	—	—	—	—	—	△28	△30	△2
合計	2,631	2,671	+39	2,168	2,251	+83	105	92	△12

※ 当連結会計年度より報告セグメント区分を見直し、「産機・環境システム」に含まれていた「流体」を報告セグメントとして記載しております。

© 2023 ShinMaywa Industries, Ltd.

3

セグメント別の受注高、売上高、および営業利益は、ご覧の通りです。

各セグメントの前期比の主な増減理由は、後ほどご説明いたします。なお、当連結会計年度から、報告するセグメントの区分を見直し、産機・環境システムに含まれていた、流体を独立したセグメントとして開示しております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	22.3期末	23.3期末	増減
現預金	26,600	22,745	△3,854
売上債権	70,945	71,417	+472
棚卸資産	46,925	53,802	+6,877
有形・無形固定資産	45,306	45,191	△114
その他資産	31,429	33,749	+2,320
資産合計	221,206	226,907	+5,700
買入債務	25,898	27,310	+1,412
有利子負債	52,254	52,417	+162
その他負債	48,792	46,739	△2,053
負債合計	126,945	126,467	△477
自己資本	92,465	98,747	+6,281
その他純資産	1,795	1,692	△102
純資産合計	94,261	100,439	+6,178
負債・純資産合計	221,206	226,907	+5,700
自己資本比率	41.8%	43.5%	

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	22.3期	23.3期	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	15,998	6,404	△9,594
投資活動による キャッシュ・フロー	△7,221	△7,164	+56
フリー・ キャッシュ・フロー	8,777	△760	△9,537
財務活動による キャッシュ・フロー	△5,203	△4,108	+1,095

© 2023 ShinMaywa Industries, Ltd.

4

連結貸借対照表および連結キャッシュ・フロー計算書は、ご覧の通りです。

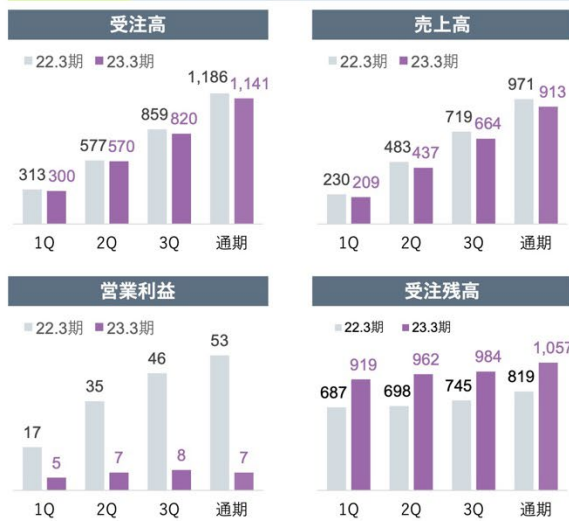
2023年3月期末時点の資産は、棚卸資産の増加などにより、前期末に比べて57億円増加し、2,269億円となりました。負債は、仕入れ債務が増加したものの、未払い費用の減少などにより、前期末に比べて4億円減少し、1,264億円となりました。純資産は、配当金の支払いはあったものの、親会社株主に帰属する当期純利益を計上したことなどにより、前期末に比べて61億円増加し、1,004億円となりました。これらの結果、自己資本比率は、前年度末の41.8%から43.5%に上昇いたしました。

連結キャッシュ・フローにつきましては、営業活動の結果得られたキャッシュ・フローは前期に比べて95億円減少の64億円、投資活動の結果支出したキャッシュ・フローは5,000万円減少のマイナス71億円。これらの結果、フリー・キャッシュ・フローは95億円減少のマイナス7億円となりました。財務活動の結果支出したキャッシュ・フローは、前期に比べて10億円減少のマイナス41億円となりました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

業績推移 (単位: 億円)



通期実績 (前期比)

受注高

- 建設関連車両の減少、林業用機械等の減少

売上高

- 建設関連車両、環境関連車両の減少

営業利益

- 減収による減益
- 鋼材価格の上昇等による減益

受注残高の手持月数推移 (単位: カ月) ※

22.3期				23.3期			
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
8.9	8.7	9.3	10.1	13.2	13.2	13.3	13.9

※受注～売上の平均期間、受注残高÷1カ月当たりの売上高で算出

© 2023 ShinMaywa Industries, Ltd.

5

続きまして、2023年3月期の通期実績について、セグメント別に前期比で説明いたします。

まず、特装車セグメントです。

受注高は、建設関連車両に加え、林業用機械などを取り扱うイワフジ工業が減少いたしました。

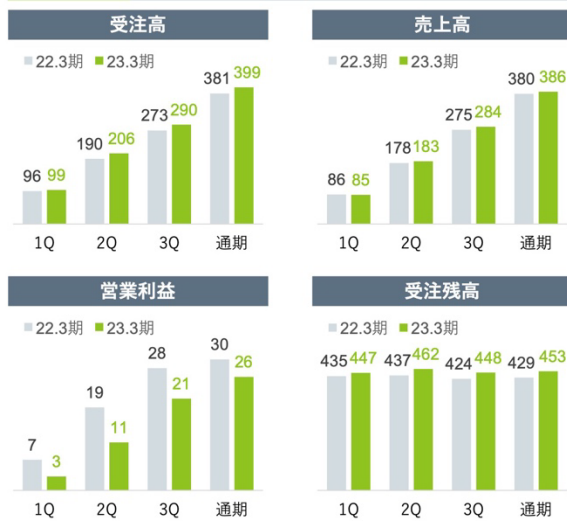
売上高は、主要部品の調達遅れなどが生産活動に影響し、建設関連車両、環境関連車両などが減少いたしました。

営業利益につきましても、減収および鋼材価格の上昇などにより、前期に比べて大幅な減益となりました。なお、受注残高につきましても、引き続き高い水準で推移しており、2023年3月期末時点で13カ月を超える受注残高を保有しております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

業績推移 (単位: 億円)



通期実績 (前期比)

受注高

機械式駐車設備: 製品 (二・多段方式)、改修修理の増加
航空旅客搭乗橋: 国内の減少

売上高

機械式駐車設備: 前期並みの水準
航空旅客搭乗橋: 国内、海外ともに増加

営業利益

機械式駐車設備: 改修修理の減収による減益
鋼材価格の上昇等による減益
航空旅客搭乗橋: 増収による増益

© 2023 ShinMaywa Industries, Ltd.

6

次に、パーキングシステムセグメントです。

受注高は、航空旅客搭乗橋において減少したものの、機械式駐車設備において、新明和パークテックの製品である二・多段方式の機械式駐車設備が増加し、改修修理の受注も増加したことから、全体では増加いたしました。

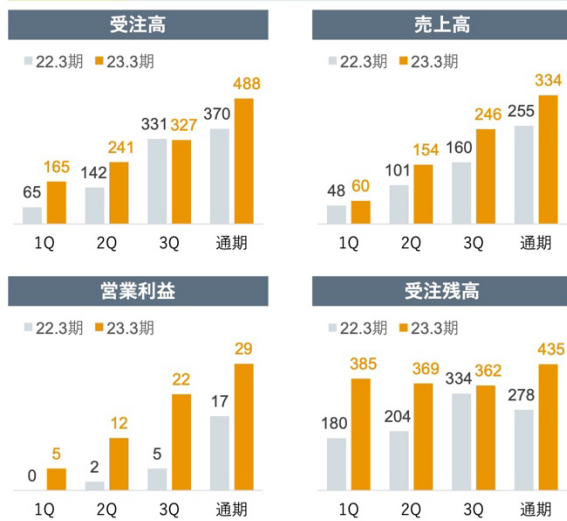
売上高は、機械式駐車設備においては前期並みの水準となりましたが、航空旅客搭乗橋において国内・海外ともに増加したことから、全体では増収となりました。

営業利益につきましては、航空旅客搭乗橋では増収による増益となったものの、機械式駐車設備において、収益の柱である改修修理が減収となったことに加え、鋼材価格の上昇などにより、全体では減益となりました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

業績推移 (単位: 億円)



© 2023 ShinMaywa Industries, Ltd.

通期実績 (前期比)

受注高

メカトロニクス製品：真空製品の増加
 環境関連事業：プラント案件およびサービス事業の減少
 (前期は大口(天理市案件)の受注あり)

売上高

メカトロニクス製品：真空製品の増加
 環境関連事業：プラント案件の増加

営業利益

メカトロニクス製品：増収による増益
 環境関連事業：工事損失引当金の増加による減益

サブセグメント別 受注高・売上高推移 (単位: 億円)

サブセグメント		22.3期				23.3期			
		1Q	2Q	3Q	通期	1Q	2Q	3Q	通期
メカトロニクス製品	受注高	30	77	130	166	125	163	197	341
	売上高	33	68	108	159	44	117	183	236
環境関連事業	受注高	34	65	200	204	39	77	130	146
	売上高	15	32	51	95	16	36	62	97

次に、産機・環境システムセグメントです。

受注高は、環境関連事業において、大口案件を受注した前期に比べて減少したものの、メカトロニクス製品において、EV用二次電池向け真空乾燥装置の製造販売を手掛ける韓国真空の受注が大幅に増加したことから、セグメント全体では増加しました。

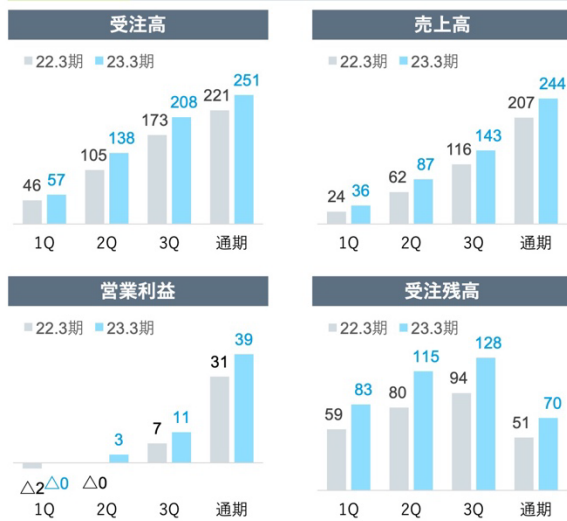
売上高は、好調な受注を背景に、メカトロニクス製品が大幅な増収となり、環境関連事業も増収となりました。

営業利益は、環境関連事業において、工事損失引当金の増加により減益となりましたが、メカトロニクス製品において増収による増益となり、全体では大幅な増益となりました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

業績推移 (単位: 億円)



通期実績 (前期比)

受注高

- 前期に実施したM&A効果による増加
- 国内官需、国内民需、海外関連の増加

売上高

- 前期に実施したM&A効果による増収
- 受注増に伴う増収

営業利益

- 前期に実施したM&A効果による増益
- 増収による増益

© 2023 ShinMaywa Industries, Ltd.

8

次に、流体セグメントです。

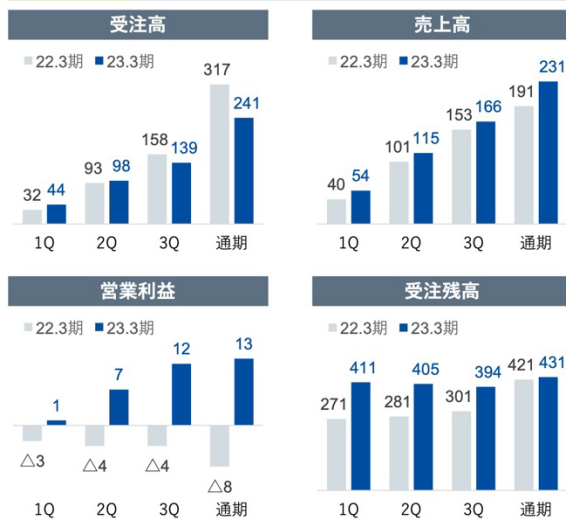
受注高は、前期の後半に M&A を行った TurboMAX の業績が大きな増加要因となっております。これに加え、国内官需、国内民需、海外関連が、いずれも堅調に推移した結果、全体では増加いたしました。

売上高は、受注高と同様、M&A 効果が寄与し、好調な受注環境も追い風となった結果、増収となり、これを受けて営業利益も増益となりました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

業績推移 (単位: 億円)



通期実績 (前期比)

受注高

防衛省向け：US-2型救難飛行艇関連の減少
民需関連：前期に実施したM&A効果による増加
為替の円安による増加

売上高

防衛省向け：輸送機向けコンポーネントの増加
民需関連：「777/777X」「G7500」生産機数増加
前期に実施したM&A効果による増加
為替の円安による増収

営業利益

原価低減および為替の円安等による増益

民需関連 生産機数

(単位: 機)

	22.3期	23.3期
777/777X	22	25
787	30	23
G7500	36	42

為替感応度 (24.3期)

1円/USドルの円安進行で
約0.7億円の営業利益増

© 2023 ShinMaywa Industries, Ltd.

9

次に、航空機セグメントです。

受注高は、民需関連において前期に実施した M&A 効果や為替が円安に推移したことによる増加があったものの、防衛省向けにおいて、US-2 型救難飛行艇の 9 号機を受注した前期に比べて大幅に減少したことから、全体では減少いたしました。

売上高は、防衛省向けにおいて輸送機向けコンポーネントなどが増加し、民需関連においても、ボーイング 777、およびグローバル 7500 の生産機数が増加したことに加え、前期に実施した M&A 効果や為替が円安に推移したことなどから、全体では増収となりました。

営業利益につきましても、原価低減および為替の円安などにより、増益となりました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

(単位：百万円)

	23.3期 実績	24.3期 予想	増減 (増減率)	
受注高	267,159	271,000	+3,840	(+1.4%)
売上高	225,175	270,000	+44,824	(+19.9%)
営業利益	9,293	12,000	+2,706	(+29.1%)
経常利益	9,902	11,700	+1,797	(+18.2%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,313	7,300	△13	(△0.2%)
受注残高	255,859	256,859	+1,000	(+0.4%)
1株当たり年間配当金	45円	45円	—	—
配当性向	40.5%	40.6%	+0.1pt	—
為替レート (1USドル)	135.5円	130.0円※		

※ 24.3期 予想の為替レートについては、5月以降の前提レートを表示しています。

© 2023 ShinMaywa Industries, Ltd.

前期比

受注高

- 「パーキングシステム」「航空機」「産機・環境システム」セグメントが増加することから、全体では増加する（過去最高となる）見通し。

売上高

- 「流体」を除く全てのセグメントが増収となり、全体では増収（過去最高）となる見通し。

利益

- 増収により増益となる見通し。

続きまして、ここからは、2024年3月期の連結業績予想についてご説明いたします。

こちらは、2024年3月期の業績予想を前年実績と比較した表です。

受注高は、パーキングシステム、航空機、産機・環境システムセグメントが増加することから、全体では前期比1.4%増の2,710億円となり、3期連続で過去最高を更新する見込みです。

売上高は、流体を除く全てのセグメントで増収となり、全体では前期比19.9%増の2,700億円となり、過去最高を記録した2019年度売上高2,272億円を大幅に更新する見込みです。

利益に関しては、営業利益は前期比29.1%増の120億円、経常利益は前期比18.2%増の117億円と、増収による増益を見込みますが、親会社株主に帰属する当期純利益は、特別利益の減少と税金費用の増加などにより、前期並みの水準の73億円となる見込みです。

当社は、現在推進中の中期経営計画SG-2023において、株主還元の目標水準を連結配当性向40%から50%としており、この方針に鑑みて、1株当たりの年間配当金は45円を予定しております。なお、この予想値の為替レートは1ドル130.0円を前提としております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

セグメント	予想	事業環境（見通し）
特装車		➤ 需要は引き続き堅調に推移。主要部品調達遅れ等に伴う生産活動の停滞は回復傾向にあるものの、正常化するのは年明けの見込み。 ➤ 前期初に実施した価格改定効果は、今期から本格的に顕在化するも、前回の価格改定以降、鋼材価格の高騰が更に進行していることに加え、加工費や物流費、エネルギー費等の運営費も上昇しており、増益幅は限定的。 ➤ 今期初から二度目の価格改定を実施。ただし、前期末時点で13カ月を超える受注残高を保有しているため、二度目の価格改定が本格的に売上に反映されるのは来期以降となる見通し。
パーキングシステム		➤ 機械式駐車設備の製品需要は堅調。前期の減益要因となった半導体不足に伴う電気部品の長納期化によるサービス事業の売上減少も、今期は回復に向かう見通し。 ➤ 航空旅客搭乗橋は、コロナ禍で延期、中断していた案件が動き出し、市場は拡大する見通し。
産機・環境システム		➤ メカトロ事業は、EV市場の成長と連動した車載二次電池関連設備の加速度的な投資の増加を背景に、今期も真空乾燥装置の売上規模は拡大する見込み。また、自動電線処理機の市場は底堅く推移する見通し。 ➤ 環境関連事業は、プラント案件の需要が堅調。これに伴うストック事業の増加もセグメント業績を支える。
流体		➤ 国内官需関連は、国土強靱化計画等による豪雨・浸水対策分野が引き続き伸長、下水処理施設の広域化・共同化、ストックマネジメント推進によるリニューアル＆サービス分野が堅調に推移する見通し。 ➤ 国内民需関連は省エネ製品への関心が高く、完全子会社化したTurboMAX Co., Ltd.のターボブロワを中心に需要増。海外関連も同様に底堅く推移する見通し。
航空機		➤ 防衛省向けは、US-2型救難飛行艇の製造進捗等により売上は増加する見込み。 ➤ 民需関連は、ボーイング社向けの製品が回復基調で、生産機数は増加する見通し。

© 2023 ShinMaywa Industries, Ltd.

12

こちらは、当社グループの事業環境をセグメントごとに表した表です。

特装車は、需要は引き続き堅調に推移する見込みです。主要部品の調達遅れなどに伴う生産活動の停滞については、正常化は年明けとなる見込みであるものの、回復傾向にあり、また 2023 年 3 月期の期初から実施していた価格改定効果についても、今期から本格的に顕在化する見込みですが、想定を上回る原材料価格などの高騰により、増益幅は限定的となる見通しです。このような状況下、今期は、期初から二度目の価格改定を実施しております。効果の顕在化にはタイムラグがありますが、将来の収益性向上に向け、価格転嫁、生産性のさらなる向上などに取り組んでまいります。

パーキングシステムは、収益の柱である機械式駐車設備のサービス事業において、半導体不足に伴う電気部品の長納期化により、2023 年 3 月期は一時的に売上が減少しておりましたが、今期は回復に向かう見込みです。また、航空旅客搭乗橋は、コロナ禍で延期・中断していた案件が動き出し、市場は拡大する見通しで、業績回復が期待できます。

産機・環境システムは、EV 市場の成長と連動した車載二次電池関連設備の加速度的な投資の増加を背景に、今期も真空乾燥装置の売上規模が大幅に拡大する見通しです。また、環境関連事業においても、プラント案件の需要が堅調であることから、セグメント全体として好調に推移する見通しです。

流体は、国内官需、国内民需、海外、いずれも堅調に推移する見通しです。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

航空機は、US-2 型救難飛行艇の製造作業進捗や、ボーイング社向け製品の生産機数増加などにより、防衛省向け、民需関連ともに、売上が増加する見通しです。

2024年3月期 連結業績予想 セグメント別（前期比）

ShinMaywa
VISION WITH INSIGHT

（単位：億円）

セグメント	受注高			売上高			営業利益		
	23.3期 (実績)	24.3期 (予想)	増減	23.3期 (実績)	24.3期 (予想)	増減	23.3期 (実績)	24.3期 (予想)	増減
特装車	1,141	1,079	△62	913	1,068	+ 154	7	29	+ 21
パーキングシステム	399	483	+ 83	386	436	+ 49	26	31	+ 4
産機・環境システム	488	496	+ 7	334	475	+ 140	29	37	+ 7
流体	251	242	△9	244	242	△2	39	33	△6
航空機	241	284	+ 42	231	308	+ 76	13	16	+ 2
その他	149	126	△23	141	171	+ 29	7	9	+ 1
調整額	—	—	—	—	—	—	△30	△35	△4
合計	2,671	2,710	+ 38	2,251	2,700	+ 448	92	120	+ 27

© 2023 ShinMaywa Industries, Ltd.

13

今ご説明した事業環境予測を加味した、セグメント別の受注高、売上高、および営業利益の通期予想はご覧の通りです。

前期比の主な増減理由をご説明しますと、受注高は、航空旅客搭乗橋の市場回復に向けた動きが期待できるパーキングシステムで 83 億円の増加を見込んでおり、全体では 38 億円増の 2,710 億円となる見通しです。

売上高は、特装車で、生産活動の停滞の回復、価格改定効果の顕在化などから 154 億円の増収、産機・環境システムについても、子会社の韓国真空の伸長などから 140 億円の増収を見込み、これ以外のセグメントについても事業環境が好調に推移することが期待できることから、全体では 448 億円増の 2,700 億円となる見通しです。

営業利益は、特装車や産機・環境システムを中心に増収増益が期待でき、全体では 27 億円増加の 120 億円となる見通しです。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

(単位：百万円)

[SG-2023]業績目標比

	[SG-2023] 業績目標	24.3期 予想	
売上高	250,000	270,000	達成見込み
営業利益	15,000	12,000	-
海外売上高	45,000	60,000	達成見込み
ROE	10%以上	7.2%	-
ROIC	7%以上	5.2%	-
為替前提レート (1USD円)	108.0円	130.0円	

売上高

- 「パーキングシステム」「その他」を除く全てのセグメントが中計目標を上回り、全体では達成する見込み。

営業利益

- 主力の「特装車」をはじめとする各セグメントで原材料価格やエネルギーコストの上昇などによる影響は大きく、更に新事業創出やDX推進のための成長投資も予定していることから、未達となる見込み。

海外売上高

- メカトロニクス製品が大きく伸長、また、各事業が長期事業戦略の推進テーマである海外展開に地道に取り組んだ結果、大幅に上回る見込み。

ROE、ROIC

- 収益性の低下等により、未達となる見込み。

© 2023 ShinMaywa Industries, Ltd.

15

最後に、2024 年 3 月期の業績予想と、中期経営計画 SG-2023 の業績目標との差異についてご説明いたします。

2024 年 3 月期は、中期経営計画 SG-2023 の最終年度となります。

こちらは、2024 年 3 月期の業績予想と、現在推進中の中期経営計画 SG-2023 の業績目標を比較した表です。

売上高は、パーキングシステムとその他を除く、全てのセグメントが中計目標値を上回り、全体では目標を達成する見込みです。一方、営業利益は、主力の特装車をはじめとする各セグメントで、原材料価格やエネルギーコストの上昇などによる影響は大きく、さらに新事業創出や DX 推進のための成長投資も予定していることから、中計目標値は未達となる見込みです。

海外売上高は、韓国真空の伸長、TurboMAX の M&A をはじめ、各事業が長期事業戦略の推進テーマである海外展開に地道に取り組んでいることなどにより、1 年前倒しで中計目標値を達成し、最終年度は大幅に上回る見込みです。

ROE、ROIC は、収益性の低下などにより、未達となる見込みです。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

中期経営計画[SG-2023]業績目標との差異（セグメント別）

（単位：億円）

セグメント	売上高			営業利益		
	[SG-2023] 業績目標	24.3期 予想		[SG-2023] 業績目標	24.3期 予想	
特装车	1,020	1,068	達成見込み	69	29	—
パーキングシステム	470	436	—	38	31	—
産機・環境システム	280	475	達成見込み	18	37	達成見込み
流体	240	242	達成見込み	31	33	達成見込み
航空機	300	308	達成見込み	7	16	達成見込み
その他	190	171	—	14	9	—
調整額	—	—	—	△27	△35	—
合計	2,500	2,700	達成見込み	150	120	—

© 2023 ShinMaywa Industries, Ltd.

16

セグメント別の売上高および営業利益の比較は、ご覧の通りです。

特装车について、売上高は目標値を達成する見込みですが、営業利益は、鋼材価格の高騰など、売上原価増加の影響が大きく、目標未達となる見込みです。

パーキングシステムについては、売上高、営業利益ともに目標未達となる見込みです。売上高は、機械式駐車設備が目標値を達成する見込みであるものの、航空旅客搭乗橋がコロナ禍の長期化による市場回復遅れなどにより未達となる見込みです。営業利益は、減収や売上原価の増加などにより、未達となる見込みです。

産機・環境システムは、韓国真空の伸長により、売上高、営業利益ともに目標値を達成する見込みです。流体は、国内官需、国内民需、海外、いずれも堅調に推移し、売上高、営業利益ともに目標値を達成する見込みです。航空機は、ボーイング787の機数減を見込むものの、為替円安効果や、防衛省向けの売上増などにより、売上高、営業利益ともに目標値を達成する見込みです。

このように、現時点で営業利益、ROE、ROICは、残念ながら、中期経営計画の業績目標未達となる見込みですが、価格転嫁と原価低減、および生産性のさらなる向上を推し進め、営業利益の上積みができるよう、1年間、取り組んでまいります。

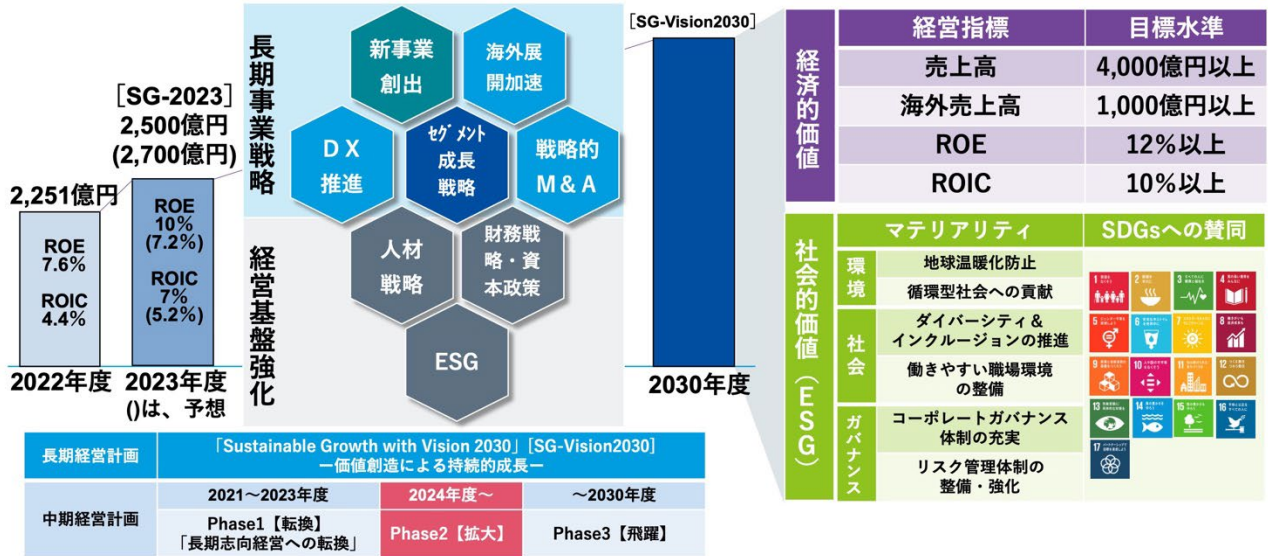
サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

長期経営計画「SG-Vision2030」：戦略と目標

ShinMaywa
VISION WITH INSIGHT

「長期事業戦略」と「経営基盤強化」の推進で「SG-Vision2030」の経営目標を達成



© 2023 ShinMaywa Industries, Ltd.

/ 17

最後に、こちらは、2021 年度よりスタートした長期経営計画 SG-Vision2030 の事業戦略と業績目標などを示したものです。

この SG-Vision2030 は、ゴールとなる 2030 年度までの 10 年間で 3 期の中期経営計画の実践を通じて、目標水準の達成を目指す計画としております。

次期中期経営計画となる Phase2 は拡大をテーマとして、SG-Vision2030 の経営指標などからバックキャストした戦略を織り込んだ計画にしたいと考えており、1 年間じっくりと時間をかけて、持続的成長が実現可能な計画を策定してまいります。

以上をもちまして、2023 年 3 月期の決算説明を終了いたします。

ご清聴いただき、ありがとうございました。

[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所については[音声不明瞭]と記載

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

